

WAT-NeW では2ヶ月に1回、WAT-NeW 参画機関間の情報共有を目的とし、メール配信を行っております。本メールは WAT-NeW 世話人、運営委員の先生方、また事務ご担当の皆様へ BCC にてお送りしております。貴学の研究者の皆様へ、ご周知頂けましたら幸いです。



WAT-NeW メールマガジン vol.19

2017.7.10



◆今号でお知らせする内容

- ト【1】コラム
- ト【2】WAT-NeW 限定グラント・アワード・共同研究提案 情報
- ト【3】イベント情報

【1】 「TR の推進と基礎医学研究」

川崎医科大学 免疫学 教授 石原克彦

医学部・医科大学の使命としての社会への還元は、一般的な診療と研究だけでは不十分であり、治療法開発に成功して初めて達成されるという考え方がある。

医学部卒業生が基礎医学研究に進む動機として、医学・生物学に対する純粋な科学的興味のみ由来するのは極一部であり、多くは医学・医療への貢献、即ち病気を治すことを目指す気持ちが底流に共通して存在するのではないだろうか。近年、科学を発展させ産業の振興に繋げるという政策が強く進められる中で、基礎医学者として病因や病態を解明すれば誰かが治療に応用してくれるだろうという考え方が甘いものであったと気付かされる。そして創薬を目標とするならば企業との連携は基礎医学研究に進んだ底流の目的達成への正当な手段であると認識を改めることになる。その代わり、特許取得前には学術的な公表を控える、知財保護のために共同研究者との討論も慎重になる、発明の経済効果を考える、といった変化が生じる。創薬の厳しさを知ることは疑いなく有意義である。しかし、自由な着想の無限な広がり的魅力であった研究が、枠の中に押し込められて窮屈で魅力のないものになってしまうような印象をぬぐい去ることが出来ない。

現在の画期的な生物学的製剤が予想外の発見に基づくことを鑑みて、意味のわからない現象に対しても本質的理解に向けて取り組む基礎医学研究の継続的支援が長期的な TR 推進策として最も重要なこととなるであろう。

【2】 WAT-NeW 限定グラント・アワード・共同研究提案 情報

【大日本住友製薬株式会社】

■精神・神経及び希少疾患・難病（癌を除く）が対象領域となる化合物のスクリーニング研究・ヒット化合物の構造最適化研究

大日本住友製薬の化合物ライブラリーおよび創薬探索基盤の活用により、アカデミアのユニークな創薬標的や作用機作を起点とした創薬を先生方と協力して推進してまいります。先生との緊密な協働により、化合物のスクリーニング研究、およびヒット化合物の構造最適化研究を推進するとともに、両者の発想を活かして優れた臨床候補化合物の創出につなげます。今回の募集は精神・神経及び希少疾患・難病（癌を除く）が対象領域となります。共同研究にご興味のある先生がいらっしゃいましたら企業担当者との面談を設定し、共同研究内容・条件につきまして詳細をご説明致しますのでご連絡下さい。

【お問い合わせ：nw-info@med.kyushu-u.ac.jp 092-642-4787（塩塚）】

【株式会社トミー精工】

■2017株式会社トミー精工 小型微量遠心機提供アワード（7/31締切）

アワード内容：小型微量遠心機 Multi Spin

詳細：<http://wat-new.org/archives/1291>

【ベイバイオサイエンス株式会社】

■2017 ベイバイオサイエンス株式会社 抗体提供アワード (9/30 締切)

アワード内容：ベイバイオサイエンス株式会社が国内輸入している米国 TONBObiosciences 社の抗体

詳細：<http://wat-new.org/archives/1295>

【塩野義製薬株式会社】

■動脈硬化に関わる疾患（脳卒中および冠動脈疾患）イベント発症前後の血液を保有し、ご提供いただける方を探しています。

詳細：<http://wat-new.org/archives/1129>

【アカデミア共同研究】

□p53 野生型脳腫瘍（およびその他の悪性腫瘍）における GRWD1 発現量検査による予後推定、治療方針決定に向けた共同研究提案

詳細：<http://wat-new.org/archives/1245>

※共同研究提案等ございましたら、WAT-NeW 事務局までご連絡ください。

=====

【3】イベント情報

=====

■「製薬企業との共同研究から得られた教訓と臨床研究法への対応について」

演者：梅本誠治 先生（広島大学病院 総合医療研究推進センター 教授）

日時：平成 29 年 7 月 12 日（水） 18:00～19:00

場所：九州大学 病院キャンパス 基礎研究A棟 1階 第2講義室

詳細：<http://wat-new.org/archives/1437>

■「産学連携の重要性 ―創薬・再生医療の研究開発において企業がアカデミアに期待すること―」

演者：内山務先生（内山務知財戦略事務所 所長 弁理士・薬学博士）

日時：平成 29 年 7 月 25 日（火） 18:00～19:00

場所：九州大学 病院キャンパス 基礎研究A棟 1階 第1講義室

詳細：<http://wat-new.org/archives/1441>

■新規 PI 認定（臨床研究認定制度上級コース）講習会

日時：平成 29 年 9 月 1 日（金） 13:00～18:05

場所：九州大学医学部 総合研究棟 2F 204 号室

詳細：<http://www.med.kyushu-u.ac.jp/crc/center/seminar20170901.html>

九州大学 先端融合医療創成センター ARO 橋渡研究推進部門

WAT-NeW 事務局（担当：川口／鶴屋／岩崎／麻生）

TEL：092-642-4802 FAX：092-642-4528

E-mail：info@wat-new.org URL：<http://wat-new.org/>
